デトロイト日本商工会月刊会報
JBSD Views
8
2020
Issue 317

涼味を誘う夏の美術～ミシガン大学美術館コレクションより

ミシガン大学美術館 アジア美術学芸員
及部　奈津

COVID-19のパンデミックで、夏休みでも遠方に出かけられず、自宅にこもりがちの方々が多くいらっしゃることでしょう。子供や成人向けのプログラムの多く行われるミシガン大学美術館の日本美術ギャラリーも、美術館閉館中でひっそりと静まりかえっています。そこで今回は当館の日本美術コレクションから、涼しさを呼び、夏の暑さを一瞬忘れさせてくれる作品をご紹介したいと思います。

尾形 光琳（おがた こうりん）は豪華絢爛な屏風絵で有名な江戸中期の画家です。このユーモラスな布袋の絵 **(図1)** は、もともと団扇（うちわ）に描かれ、のちに骨組みから外され掛軸として表装されました。墨で素早く描かれた布袋の体、顔、背中に背負った袋、指を一本出したこぶしまでまん丸で、うちわの形を反復しているようです。江戸時代、様々な意匠をほどこした団扇が夏に登場しましたが、裕福な町人は、この布袋図のように一点物を注文し、庶民は版画を使った量産品を買い求めました。また店や商品の名前をプリントした団扇は、宣伝の道具にもなりました。この浮世絵 **(図2)** では、歌舞伎役者の河原崎権十郎（のちの九代市川團十郎）が見た目も涼しげな藍染の浴衣を着て手ぬぐいを肩にかけ、手には「日の出」と書かれた団扇を持っています。「日の出」はお酒の銘柄だと思われます。

水しぶきをあげて落下する滝や、水中を気持ちよさそうに泳ぐ魚を描いた絵は、暑い夏に室内に飾られました。この猿の親子と滝を組み合わせた絵 **(図3)** は、江戸時代後期の画家、森 狙仙（もり そせん）によるものです。森 狙仙は猿を描かせれば右に出るものがないといわれ、当時大人気のアーティストでした。母猿は滝の姿を見ながら、顔にかかる水しぶき気持ちよさそうに感じているようです。また、2匹の金魚がひれを優雅に揺らしながら水草のまわりを泳いでいる作品 **(図4)** は、花鳥画の版画で著名な小原 祥邨（おはら しょうそん）のものです。動物や魚の姿を通して、見ている私たちも涼しげな感覚を味わうことができます。

執筆者:
Natsu Oyobe（及部 奈津）, Ph.D.
Curator of Asian Art
University of Michigan Museum of Art (UMMA)

図1: 尾形 光琳 / 布袋図（18世紀初頭）
ミシガン大学美術館所蔵
Museum purchase made possible by the Margaret Watson Parker Art Collection Fund, 1965/1.157

図2: 豊原 国周
初代河原崎権十郎の宝結の権（1867年）
ミシガン大学美術館所蔵
Gift of Pearl Sellards, 1985/1.174

図3: 森 狙仙 / 滝に猿図（19世紀初頭）
ミシガン大学美術館所蔵
Museum purchase made possible by a gift from Helmut Stern, 1986/2.61.1

図4: 小原 祥邨 / 金魚（1926年）
ミシガン大学美術館所蔵
Museum Purchase, 1930.64

© 2020 JBSD. All rights reserved. 08-20 Designed by JT&D. Opinions expressed here are those of the authors and do not necessarily reflect those of the JBSD.

在デトロイト日本国総領事館提供によるトピックスとお知らせ

※ 以下の情報は、7月23日時点の状況に基づくものです。最新の情報については、必ず当総領事館ホームページ（www.detroit.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）をご確認ください。

新型コロナウイルス感染症について（重要なお知らせ）

当館ホームページのご案内

当館ホームページでは、ミシガン州及びオハイオ州の感染者数の推移を始め、当地における新型コロナウイルスに関する最新情報、当館が入居するルネッサンスセンタービルの入構制限に係る情報、医療機関に関する情報、政府機関や自治体のリンク等の最新情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

総領事館ホームページ▶ www.detroit.us.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

当館メールマガジン・たびレジのご案内

当館から、各地で行われる抗議活動や夜間外出禁止令等、在留邦人の皆様に有益と思われる情報や各種のお知らせをEメールで速やかにお送りする領事メールを、当館の在留届、メールマガジン又はたびレジに登録されたメールアドレスに送信しています。当館からの領事メールの登録を希望される方は、以下のリンクから登録を行ってください。（なお、帰任に伴う領事メールの配信停止には、帰国届けの提出、メルマガ登録やたびレジ登録の解除が別途必要となります）。

メールマガジン登録▶ www.detroit.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/emagazine.html
たびレジ登録▶ www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/register

当館公式 YouTubeチャンネルの開設について

このたび当館では、日本の多様な魅力の発信強化と、日・ミシガン関係、日・オハイオ関係の草の根レベルからの地域交流活動の促進のため、当館HP、当館Facebookに加え、新たに当館公式YouTubeチャンネルを開設しました。当館YouTubeチャンネルにおいては、これまで日本に興味を持ってこられなかった方々も含めた幅広い層を対象に、広報文化班メンバーが元気に楽しく日本文化をご紹介するほか、姉妹都市・友好都市交流活動の様子やオンラインイベント等についてもご紹介していくことを考えております。ぜひご視聴・チャンネル登録をお願いいたします。

総領事館Youtubeチャンネル▶ www.youtube.com/channel/UCCjDV9rrqjUR0q8hLQSbO3A

ミシガン州の学校再開に向けたロードマップについて

6月30日、ミシガン州政府は、2020–21年度の学校再開に向けたロードマップを公表しました。本ロードマップでは、感染状況に応じて段階的に経済活動を再開していく計画（MI Safe Start Plan: 5月7日公表）で定められた6段階の感染状況において、各学区や学校が行うべき安全対策を概説しており、MI Safe Start Planの第4段階（改善期）から第6段階（終末期）に該当する地域においては、必要な安全対策を施した上で、対面学習を再開できることを示しています。

MI Safe Schools: Michigan's 2020–21 Return to School Roadmap:
www.michigan.gov/documents/whitmer/MI_Safe_Schools_Roadmap_FINAL_695392_7.pdf

領事窓口の業務日について

現在、当館では、以下の通り当館領事窓口の業務日を月、水、金の週3日間（予約制）にさせていただいております。また、来館にあたっては、待合室での混雑を避けるため、事前に電話にて来館時間のご予約をお願いいたします。

領事窓口の業務日
月曜日・水曜日・金曜日（除、休館日）
※8月は土日以外の休館日はありません

受付時間
9:15am–11:45am・1:00pm–4:30pm

予約制の導入
来館に当たっては、事前に電話にて来館時間の予約をお願いいたします。
Tel: 313-567-0120（代表）
パスポートの場合▶内線216
戸籍届出・証明の場合▶内線213

注意事項

- 火曜日、木曜日は、窓口業務は行っていませんが、電話照会への対応は引き続き行っています。ただし、対応にお時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 領事窓口の業務日・時間については、今後の状況に応じて変更が生じる可能性もありますので、ご来館前には必ず、当館ホームページで最新の情報をご確認ください。
- 予約当日、体調がすぐれないようであれば、体調が回復されてから、再度ご予約の上ご来館をお願いいたします。また、お急ぎでない手続きについては、ご来館の時期を再検討下さい。
- 領事待合室の入口に消毒用アルコールを設置しています。
- 領事窓口に筆記用具を用意しておりますが、感染拡大防止の観点から、可能な限り筆記用具をご持参いただけますようご協力をお願いいたします。
- 感染予防の観点から、領事待合室の警備員及び領事窓口職員が、マスク・手袋を着用して対応していることがありますので、予めご理解をお願いいたします。

266回 リレー随筆

米系企業で働く私について

NYX Inc.
古賀（こが） 良幸（よしゆき）

Sanyo Corporation of Americaの海老沢さんからバトンを受け取った古賀と申します。NYX Inc.という米系の自動車内装部品専門のティア1サプライヤで金型エンジニアをしています。日系企業勤務でも個人事業主でもない私に、デトロイト日本商工会の皆様と接する機会を与えて下さり、ありがとうございます。

勤務先がアメリカ企業ということで勤務環境等について少し触れ、後は少し長い自己紹介をさせて頂きます。

アメリカ企業の勤務環境

入社当初、5時にパソコン等を片付け始め、5時10分くらいに駐車場に行くと自分の車の他には数台しか残っていない事に驚き、自分も早く退社しても問題ないと頭では判っていても、やはり長年慣れ親しんだ感覚はなかなか変えらませんでした。でも、今ではすっかり平気になってしまいましたが…。意思決定は、基本的に口頭によるコミュニケーションを基にとにかくスピード重視ですね。多くの日本企業がスナイパー指向だとしたら、アメリカ企業はマシンガン指向でしょうか。時間をかけて一発必中を狙うより、とりあえずすぐに撃ってみてズレを修正していく方が評価される傾向は強いですね。私自身は、電話会議等で話しの流れを遮ってまで発言する事も時にはありますが、技術的な内容はメールやパワーポイント等、記録が残る形でのやり取りを心がけています。しかし、同僚や上司の中には全てを口頭のみで済ませる人も相当数いるのも事実です。また、サプライヤの売り込みに同席する事もありますが、日系とそれ以外の違いは常に感じます。日本では、特に技術系では、10出来るところを8くらいに言うのが一般的だと思いますが、ご存じのように日系以外はどこも、10出来る事なら12とか15とか平気で言います。良いか悪いかは別として、これがあまりにも多いので、聞く方は常にそのつもりで聞いています。つまり「ウチは8出来ます」と言ったら「実際は5くらいって事かな」と思われている訳です。

アメリカ移住

アメリカへは、2002年に家内と子供三人を連れて、とある製造企業に現地採用という形で移住してきました。仕事内容は一貫して金型関連です。初めの勤務先は日系でしたが、上司もグループ内の同僚もアメリカ人、顧客はアメリカ企業、外注先は台湾と、夕方家に帰るまでほとんど日本語を使う事はなく、アメリカ企業とのやり取りや、技術的な内容を太平洋を越えて打合せするなどの経験を積む事ができました。

父の町工場

25歳から39歳までの14年間、父の町工場で働きました。初めの10年くらいは機械加工とCAD/CAM担当として、寝ても覚めても効率的な加工方法を考えていたように思います。また同時にデータベースソフトのカスタマイズによって受注管理システムを構築しました。それまで受注簿、現品表、請求書等々、一案件について10種類近くの書式の手書きに父が毎週末を費やしていましたが、この事務作業量をほとんどゼロに抑えたところ、最初は父も手持ち無沙汰な様子でしたが、少し慣れたら喜んでくれました。その後も営業活動で日本中を駆け回るなど努力しましたが、零細製造業という業態はやはり時代に取り残され、2001年に父の決断で自主廃業という道を選びました。社内外に発表してからは社員の再就職の手伝いに最も時間を割き、最終的には全員、それまでの技術と経験を活かした転職先を見つける事が出来ました。

Breaking Bad の洗車場にて

初任給はスイスフラン

上智大学に通い、留学する事もなく卒業が近づいてきた頃、父の経営する町工場でスイス製工作機械を導入した関係で、その製造元本社のスイス人の方と接する機会があり、これがきっかけでスイス本社でのポジションをオファーして頂きました。いずれ父の町工場を手伝う事になるかなと思いつつ、その方向に気持ちがまだ固まっていなかった私にとって、以前から興味を持っていた日本国外での生活と、父の仕事に近い内容と、両方を一度に経験できるまたとないチャンスと思い、すぐに飛びつきました。ところが、契約書を交わしてから私の大学卒業までの何ヶ月かの間に、私を採用してくれた方がその会社を離れ、しかも私の採用後のプランを誰にも説明や引き継ぎをしていなかったため、とにかく色々な部署をたらい回しにされ、組立ラインから開発部署、さらには耐久テストの監視を夜通しやらされたりしました。後から思えば、現場にじっくり触れる非常にいい機会をもらえたと感謝しています。

高校時代に初めて触れた海外

高校はICUHS、国際基督教大学高等学校というところに通いました。二期生でしたので、まだ卒業生どころか三年生すらいませんでした。帰国子女のために作られた高校の草分けで、私は帰国子女ではありませんが、何か面白そうだと感じて選びました。私のような国産子女はごく少数派で、日本にいながら留学したような経験が出来ました。

帰国子女繋がりで、このバトンはWavelock Advanced Technologyの毛利さんに渡します。

JBSD基金報告：アナーバー ジャパン フェスティバル行われる

現在ミシガンにおける日本人口が二番目に多いAnn Arbor市では、長年にわたりAnn Arbor Summer Festivalが毎年開催されてきております。Festivalは2週間に亘って開催されますが、このうち日本文化の紹介・体験を目的としたJapan Weekは6年前からはミシガン大学の日本研究センターにより主催されています。Japan Weekは毎年多くの地元の方々に日本文化への理解を深めていただき日米の友好増大に貢献してきていることを踏まえてJBSD基金も支援をさせていただいています。今年は残念ながら新型コロナウイルスの影響により止む無くVirtual Festivalとなりましたが、ご家族で楽しめる各種プログラムが提供されました。

このうちBon-Odori Dance Seriesは、現在Japan FoundationからGEN-J（Grassroot Exchange Network-Japan）プロジェクトで派遣されている澤井GEN-Jファシリテーターが、代表的な日本文化のひとつである盆踊りをオンライン体験プログラムとして提供されました。以下のリンクからご覧いただくことができます。

Streaming of Bon-Odori Class Video:
www.youtube.com/playlist?list=PLX3FWIOwR00IqC0ThBRaX7TcI9DTooI6n

デトロイトりんご会補習授業校 講師募集中！

デトロイトりんご会補習授業校では、明るく元気で子供大好き、やる気溢れる講師を募集しています。 詳細は**www.jsd.org/teacherwanted**をご覧ください。

※QRコード読み取り可能な携帯電話で左記コードを読み取ると
りんご会ウェブサイトへジャンプします。

Japanese School of Detroit
25345 Taft Road, Novi, MI 48374 • Tel: 248-946-4697

コロナ禍で思うこと

執筆者
岩崎　博

早いもので、前回のから4か月が経過しました。昨年の今頃はどうだったのかと過去の投稿を見ると異常気候について触れていました。今年はご承知のごとく新型コロナウィルスに関するニュースが連日報道されており、皆様も外出自粛令や各種制約により不便な思いをしながら日々を過ごしているのではと思います。更に、5月末に起こった白人警官が逮捕時に行き過ぎた行動で黒人を死に追いやった事件を発端に起こった全国的な抗議活動も連日報道されています。そこで今回はこの2つニュースを中心に述べてみたいと思います。

第一はコロナウィルス蔓延についてです。これは米国、日本を含め全世界に波及しPandemicという言葉が日常的に使われる事態になっています。この蔓延を防ぐにはいわゆる「3密」状態をさけるべきということがここ米国でも強調され、これを守れば感染は収まるとの見解は大方の人達が理解しているように感じます。但しこれをどう効果的な実施に結び付けるかという点では日本と大分違う感じがします。ここミシガンでは3月初めから急激に感染者と死者が増加したことで、州知事により企業活動の一時停止、市民への自宅待機令、ソーシャルディスタンスの徹底等が矢継ぎ早に発令されました。日本との違いは、政府の統一見解の元各自治体が企業や市民に要請を行う日本のやり方に対し、ここでは実際の指示や命令はあくまで各自治体の長が発するという点です。これは国の生い立ちにより州の権限が強いからだと思います。従い、ミシガン州の知事令が他の州でも同じかというとそうではなく州毎に違いがあります。特記すべき点は命令(Executive Order)であり要請ではない点です。実効力の点では日本での要請と米国での命令はほぼ同じような感じがします。米国では単に要請では実効力は低いのではないでしょうか。その一例はマスク着用についてです。元々欧米では日本やアジア諸国と違いマスクをする習慣がないので当初はそれほど重要視されていませんでしたが、政府や州の医療関係者からその有効性が強調されるようになってからはスーパーや公共の場所でのマスク着用が一旦は定着しましたが、制限の緩和と同時に未着用も増え感染数が増加した為これまでのマスク着用を要請から義務化にする州が増えてきました。その一方で、これらの指示に公然と反対する人たちもが多々見受けられます。彼らの主張は個人の自由を束縛するような指示には従えない、というところに収束しているようです。また、警察官の中にはこのような措置を市民に強制することはしないと公言しているケースもありますが、それでも彼らが処分の対象になったとは聞いていません。これも日本とは大違いですね。このこと態は私の認識ではコロナウィルスという外敵が米国を侵略しているという国家と国民にとって重大な危機なので、イデオロギーの違いを超えて一致団結してこれを防ぐ方向にまとまるのかと思いましたが、そのようには全くなっていません。政府が民心を一つにまとめることが出来なかったのが大きな要因だと私は思っています。結局自分の身は自分で守るしかないのでしょうか？

第二の点は黒人差別に対する抗議活動の活発化についてです。この抗議活動は今突然起こったのではなく長い間続いている黒人への差別に対する不満が一つの事件をきっかけに全国的規模の抗議活動に膨れ上がったということです。黒人への差別は他の少数民族へのそれとは違い、根幹は米国の黒人の多くが過去奴隷の境遇にあり彼らは主に白人の所有物とみなされていたところにあります。南北戦争(Civil War)を通じて奴隷解放がなされたのはよくご承知かと思いますが、黒人への差別はその後もずっと続き、ミシガン州でも1960年代前半まで公共のバス等で座れる場所が制限されていたと聞いてびっくりした記憶があります。1964年に公民権法が制定され差別は違法となったものの、その後も一部の白人社会に深く根付いており折に触れてそれが表面化して抗議活動が繰り返される、今回もその流れの一つと言えます。日本で育った私には信じがたい状況ですが、この国の歴史を紐解くと多少理解ができる気がします。各種差別禁止の厳しい法律が存在するのも実態の裏返しではないでしょうか。最後になりますが、読者の皆様で不幸にもコロナウィルスに感染された方には一日も早い回復をお祈り致します。では次回またお目にかかります。

筆者紹介　岩崎　博：
神奈川県出身。Japan Intercultural Consulting (JIC)社。ミシガン州代表。ミシガン、インディアナ及びカナダの日系自動車産業で17年以上勤務の後、現職に至る。JICでは日本ビジネスに焦点を当て、定期的なセミナー、企業内研修等による日本人出向者への異文化理解、管理能力育成等の各種教育、外国人社員の教育、人事管理コンサルティング、コーチング、セクハラ予防教育等を行う国際トレーニングとコンサルティングを行っている。
本稿へのご質問・ご感想は以下まで。

Japan Intercultural Consulting (JIC)
Tel: 517-376-8496
E-mail: hiroshi.iwasaki@japanintercultural.com
www.japanintercultural.com

イベント情報

注： 掲載のイベント情報に関しては、内容が変更される場合がありますので、必ずイベント主催者に確認して下さい。
また、掲載している内容に関し、いかなるトラブルが生じても、JBSDは一切責任を負いませんので予めご了承下さい。

8月イベントについて

現在、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大防止のため例年のイベントは中止、および延期・変更にて調整中です。今後のJBSDイベントなどに関しましては、当会ウェブサイトやEメール配信をオンにして最新の情報を入手してください。

イベントに関する問い合せはJBSD事務局まで
Email: jbsdmich@jbsd.org • Tel: 248-513-6354 • Website: https://jbsd.org

JBSD 文化部会主催
JBSD オンライン写生大会のお知らせ

JBSD文化部会では、りんご会補習授業校との共催により毎年Detroit Zooにおいて写生大会を実施しておりますが、今年は新型コロナウイルスの影響により現地での写生大会開催を断念せざるを得なくなりました。

つきましては、現在りんご会補習授業校または現地校のK12に在学しておられる児童、生徒の方々を対象に、オンライン写生大会を企画しましたのでお知らせ致します。審査によって選ばれた優秀作品はJBSD月間会報Viewsへ掲載し、広くご紹介をさせていただきます。どうぞ奮ってご応募ください。

なお、些少ながらアマゾンギフトカードを優秀作品賞として差し上げます。詳しい応募要領は当会ウェブサイトをご覧ください。

締切り：2020年8月15日（土）　応募要領：https://jbsd.org

※審査結果：お送り頂いた作品の審査結果、Views記載時期は、9月20日（月）までにお知らせ致します。

家族で楽しめる、オンラインプログラム

現在も外出が限られた多くの人たちのために、さまざまな団体がウェブサイト上にオンラインプログラムを用意しています。

デトロイト美術館（DIA at Home）
www.dia.org/athome
※なお、デトロイト美術館は現在再開中です。
（お出かけの際は、マスク着用必須。お支払いはクレジットカードのみ利用可能）

- 家でできるアートクラフト
- Youtubeチャンネル
- 館内ビューDIAコレクション見学
- オンライン社会見学プログラム
- 過去イベント動画
- 木曜イベント（1:00pm）Liveオンライン勉強会

ミシガン大学美術館（UMMA）
https://umma.umich.edu

- Virtual Online Field Trip（オンライン社会見学 for Kids K–5th Grades）https://exchange.umma.umich.edu/resources/28098/view
- Art at Home（植物アートに挑戦）
- UMMA Culpture & Yoga（彫刻とヨガ）
- バーチャルコレクション閲覧

デトロイト・シンフォニー・オーケストラ（DSO）
www.dso.org

- ライブウェブキャスト
- 過去の演奏会無料動画 DSO Replay
- アーティスト、音楽家インタビュー
- 教育用クラスルームエディション

ミシガン・オペラ・シアター（MOT at Home）
https://michiganopera.org/mot-at-home

- オペラ＆ダンス ブログ
- スタジオアーティストのパフォーマンス
- Facebookライブオペラトーク
- ポッドキャスト
- オペラオンデマンド（有料）

イベント情報

日本国総領事館提供・新型コロナウイルス関連情報入手先

外務省海外安全ホームページ（外務省HP）
www.anzen.mofa.go.jp

新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～（首相官邸HP）
www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html

新型コロナウイルス関連感染症の発生について（厚生労働省HP）
www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルスに関するQ&A（厚生労働省HP）
www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/dengue_fever_qa_00001.html

アメリカ疾病予防管理センター（コロナウイルス関連）
www.cdc.gov/coronavirus/index.html

ミシガン州（コロナウイルス関連）
www.michigan.gov/coronavirus

新型コロナウイルス感染症の情報は刻一刻と変わりますので、下記リンクの情報を入手して健康・安全を第一に行動してください。

連邦政府CDC（Centers for Disease Control and Prevention）
www.CDC.gov/coronavirus/2019-ncov/index.html

ミシガン州政府
www.michigan.gov/coronavirus

JBSDスポーツ部会主催

JBSD親善ソフトボール大会 中止のお知らせ

JBSDスポーツ部会では2020年JBSD親善ソフトボール大会の開催可否について検討を重ねて参りましたが諸般の情勢を鑑みました結果、大変残念ながら本年の大会は中止とさせていただくことになりましたのでお知らせ致します。

JBSD基金

ファンドレイジングゴルフ大会 中止のお知らせ

毎年8月に実施し、今年は8月27日（木）に予定していたファンドレイジングゴルフ大会は新型コロナの影響により止むを得ず中止とさせていただきます。

編集委員の独り言

我が家の玄関灯にRobinが巣をつくり、雛を育てているのを楽しみに見ていたところ、カラスがやってきて雛を一羽さらってゆくのを見てしまいました。カラスが雛を食べてしまうのかと驚きました。もう一羽落ちている雛を巣に戻してあげたら、翌日再びカラスがやって来てその一羽をくわえて行ってしまいした。なんと余計なことをしてしまったのだろうと落胆していると、Chickadeeという鳥が飛んで来て鼻先10センチのところで羽音をたてながら空中でピタッと静止して、私を覗き込んでおります。目を突っつかないでと願いながら、こちらも静止して黒くキラキラ光っている瞳をじっと見つめます。なんともChickadeeに癒されているようなスペシャルな気持ちになりました。

さらに数日後、書斎の前の庭でカモが卵を温めているのを発見し、今度はカモの雛が生まれるのを楽しみに見ておりました。ある朝庭先に積みあげてある薪の上に普段見かけない鷹が止まっているのを見かけ、なぜこんなところにいるのだろうと不思議に思い庭に出ると、母カモが喉をやられて倒れておりました。卵を見ると、7個きれいになくなっており3個だけ残っておりました。

こんな住宅街で繰り広げられる小さな自然界、そしてその厳しさがひしひしと伝わってまいりました。こと人間界においても、なかなか先の見えてこないコロナとの闘い、Black Lives Matter黒人が長い間むきあってきた理不尽な仕打ち、わかってはいるけど止められない地球温暖化、対症療法主体の医療システム下根本治療医療はどこへやら、マイナー・女性に対するハラスメント、いじめ問題、言い出したらきりがない。それでも人間界でまともに生きてゆかなければと、大田 南畝の辞世の歌「今までは 人のことだと 思ふたに 俺が死ぬとはこいつはたまらん」（Wikipedia）を思い出す。

H.J

※ その後の残りの3個のたまごが、無事かえったご報告と、写真を共有いただきました。自然保護施設へかえされたとのことです！（編集局より）

Japan Business Society of Detroit
42400 Grand River Ave.
Suite 202, Novi, MI 48375

家族で読むViews

今月のトピック

- 特別寄稿：涼味を誘う夏の美術～ミシガン大学美術館コレクションより 1
- リレー随筆：米系企業で働く私について 3
- アナーバー ジャパンフェスティバル行われる 4
- 異文化の海を泳ぐ：コロナ禍で思うこと 5

Views views@jbsd.org（編集部）

皆様からのご意見、ご感想をお待ちしていますのでお気軽にお寄せ下さい。投稿も大歓迎です。

https://jbsd.org でもViewsをご覧いただけます。

当会SNSページもぜひチェックしてください。
www.facebook.com/jbsdmichigan
www.instagram.com/jbsd_michigan

JBSD行事予定

8月 August

商工部会・HRM Partners, Inc. 共催
人事ウェビナー
日　時：　8月18日（火）
　　2:00pm－3:00pm（EDT）
参加料：　無料
定　員：　100名（定員次第締切）
講　師：　上田　宗朗
テーマ：　外出制限の緩和・解除に向けて、人事労務管理面の注意点
ウェビナー形式：ZOOM

講演項目
- 事業計画および人員計画の見直し
- 働き方および規程の見直し
- 勤怠管理や業績管理の仕組みの見直し
- 職場環境・安全規程の見直し
- ここ数か月内に在米日系企業から問い合わせられた質問事例

商工部会・ABeam Consulting USA共催
ビジネスウェビナー
日　時：　8月27日（木）
　　2:00pm－3:00pm（EDT）
参加料：　無料
定　員：　100名（定員次第締切）
講　師：　小川　雄輝
内　容：　PDF参照
ウェビナー形式：ZOOM

背景
- 「コロナ・ショック」の特徴
- 過去事例から見るCOVID-19の動向
- コロナ後の事業方向性

アフター・コロナのデジタル戦略全容
- 統合型セールスマネジメントの推進
- 購買業務最適化
- 生産デジタル化
- 人的リソースの最適化
- 決算・経理業務効率化
- 経営管理可視化
- ビジネス基盤の最適化

お申し込みについてはJBSD事務局ウェブサイト（jbsd.org）をご確認ください

事務局長だより

さて8月といえば日本では「土用（どよう）の丑（うし）」が有名ですが、恥ずかしながら筆者はおいしい鰻の蒲焼しか関心がありませんでした。調べてみますと「土用」は中国の古代思想に由来を持ち、季節の変わり目を表すもので「立春」「立夏」「立秋」「立冬」各日の前、約18日間が土用の期間を指すとのこと。因みに今年の立秋は8月7日から22日の間とのことですが、ミシガンにはピッタリ当てはまるような気がします。当地では8月はまだ日没が午後9時近い日が続き、屋外スポーツも盛んですが落葉を始める木々の数も増えてきます。ところで先月の土曜日に近くの公園を歩いていたら今年生まれた可愛い子を連れた鹿に出会いました。新型コロナウイルスの影響により不自由を感じる日々が続いていますが、一日も早く子供たちも大人も皆で集まれる日々が戻ってきて欲しいと祈るばかりです。